

# やまぐち自然共生ニュース

No.2

やまぐち自然共生ネットワークは、県内で自然環境の保全活動を行っているグループや個人のネットワークです。私たちは自然環境との共生によって、素晴らしい自然環境を後世に伝えていきます。

身近な動植物の不思議さを知ろう。

山口県内の陸域には 12000 種以上の野生動植物種が生息していると思われます。しかし、その動植物の中で、生活史などくわしい生活がわかっている種は一部でしかありません。

身近な動植物を詳しく調べることは、根気のいる地味な作業ですが、私たちに無上の喜びと楽しみを教えてください。家の近くにこんな花が咲いている、こんな動物がくらしているのだということに気付き、注意がだんだんと動植物に向き始めると、次から次に面白い発見があり、毎日の生活が楽しくなります。さらに、もっと踏み込んで、ひとつの種や特定の地域にこだわり、日々動植物が変化する様子を見続けていくと、図鑑では分からない生命の不思議さや力強さが伝わってきます。

下の写真は、住宅地に隣接する裏山の自動撮影カメラで写したテン（イタチ科）の姿です。この 1 枚 1 枚の写真は、その動物の生活情報を提供してくれます。単独性かグループ性かなどの生活形態、四季の中で夏毛や冬毛に変化する様子、個体の栄養状態や繁殖状態、顔や胴体、尻尾などの特徴がうまく写れば個体識別も可能になります。

身近な自然は、私たちの意識の変化だけで、無尽蔵に楽しさを与えてくれるワンダーランドになります。もっと深く、もっと楽しく自然と付き合いたいと思います。身近な動植物の生活を見続けることで、新たな発見や驚きが体験でき、日々の生活が充実してくるはずで。共生とは相手を理解することから始まると思います。自然を理解し読みとっていく地道な作業の積み重ねこそが、自然との共生の基礎となると思います。



# 活動団体の実績報告 2006年度

秋吉台の自然に親しむ会（秋芳町、活動場所 秋吉台）

秋吉台の自然に親しむ会は、現在会員 89 名です（2006 年 4 月）。眺める人、写真を撮る人、歩く人、研究する人など各自フリースタイルで、秋吉台の自然を楽しむ人の集まりです。会員以外の方のために観察会なども開催しています。

## 2006 年度行事報告

### 2006 年

- 4 月 16 日 総会・自然観察会「春の野草」 20 名参加
- 5 月 14 日 モニターエコツアー「秋吉台ウォーキング」5 名参加
- 5 月 28 日 一般公募自然観察会「初夏の野草ウラサキを訪ねて」 60 名参加  
（秋吉台科学博物館と共催）
- 7 月 9 日 写真教室「自然を撮る」 13 名参加
- 7 月 30 日 モニターエコツアー「森の植物と野鳥の観察」30 名参加
- 8 月 27 日 自然観察会「秋吉台の秋の七草」54 名参加（秋吉台科学博物館と共催）
- 10 月 21 日 モニターエコツアー「晩秋のカルスト台地」38 名参加
- 10 月 28 日 秋吉台カルストウォーク 2006 スタッフとして 5 名協力

### 2007 年

- 1 月 28 日 自然観察会「小野湖のオシドリ」14 名参加
- 2 月 4 日 「野火の祭典」準備 火道切り、他 13 名協力
- 2 月 24 日 「野火の祭典」準備 山焼き当日 19 名協力
- 3 月 3 日 「野火の祭典」本番 23 名協力
- 3 月 14 日 秋吉台エコリズム推進シンポジウム 数名参加
- 3 月 25 日 自然観察会「湧水巡りパート 3」 62 名参加（秋吉台科学博物館と共催）



本山会（山陽小野田市 活動場所：竜王山）

## 竜王山植物群落の保全活動

### 1. 活動の考え方

私達の会は地域の「まちづくり」の一翼を担うべくグループとして 1994 年発足しました。「まちづくり」の要諦は自分の住んでいる地域を知ること、理解すること、それを活かす為のランドデザインを描き実践することと考えます。キーワードは「歴史と自然を活かしたふるさと創造」です。これを基に様々な仕掛けを行ってきました。その中の一つは竜王山の貴重な自然を子々孫々に残すべく山野草の保全活動です。

## 2. 竜王山

竜王山(136.2m)は山陽小野田市のランドマークといえよう。江汐公園と並び自然公園として、市内外より多くの人々に親しまれています。頂上からの展望は遮るものがなく、遠くは伊予、豊後、筑前など六州が望め、好天時に九重連山・由布岳等々の山々を見ることが出来ます。

1952年に登山道が完成。68年には市の総合公園となり、2001年には県のCCZ事業でオートキャンプ場他の施設が完成し今日に至っています。

さて、その竜王山には、市街地の真ん中にあるとは思えないほどの豊かな自然が残っています。特に山野草の豊かさは驚きでさえあります。それは公園として管理されているため、草刈りが行われ、人の手が入ることにより豊かな二次的な自然が維持されています。そこには山地や海岸性の植物約200種が混在しています。その中でも、ウバユリ・コバナタツナミ・ヒトリシズカ・モリアザミ等の群落は特筆に価するでしょう。

## 3. 活動内容

- 1) 山野草群落のモリアザミを中心とした保全活動を2000年から取り組んでいます。2000年、行政に働きかけて、モリアザミの群落保全区域を設定。そのゾーンの囲いを本山小学校の「緑の少年隊」と実施。以後、4~5回/年草刈を実施しています。昨年秋より、「緑の少年隊」や地域住民も含めての活動が展開できるようになりました。個体数も増加し見事な群生地になりつつあります。
- 2) 竜王山の「山野草観察会」を1998年より実施中。数年前より、2回(春・秋)/年実施。
- 3) 2001年より、竜王山を中心にしたウォーキング大会(7km・15km)を実施。
- 4) 2002年より、ヒメボタルの観察会を毎年5月末実施。
- 5) その他行政への提言を行っています。



## 4. 今後の取組み

- 1) 前記活動を継続発展させていき、竜王山公園の自然の「ワイズユース」を図りたいと考える。
- 2) ルリハコベの群落が開発により絶滅する寸前でした。種を採取し、復元を行っていますがこれを継続する。
- 3) メディアも含めて情報発信の継続。これにより盗掘が心配されましたが殆どないようです。市民の良識と、竜王山をウォーキングする人達が目を光らせていることもあるでしょう。今後更に竜王山の自然のグレードアップを図りたいと思っています。





# 情報コーナー

## 行事予定

実施日	事業内容	実施場所
10月20日～21日	やまぐちいきいきエコフェア出展	山口きらら博記念公園
11月	自然共生現地討論会（ミソポジウム）	周防大島町
2月	第7回理事会（リミテイング打合せ）	
2月	冬の自然観察会	萩市

「やまぐち自然共生ネットワークニュース」は、奇数月に発行する予定

## 県民協働型自然共生手づくり事業の募集が始まりました。

県自然保護課では、身近な自然とのふれあい活動など、自然活動団体等の県民が主体となった取り組みの支援・発展を進めるため、19年度新規事業として、県民協働型自然共生手づくり事業を実施しています。（環境学習との連携を図るため、（財）山口県ひとつづくり財団環境学習推進センターが実施主体として実施）

当事業は、自然活動団体が行う自然環境の保護・保全・再生活動などに要する実費を環境学習推進センターが負担し、実践活動の場に他の参加者を得て学習の機会とすることにより、自然環境に配慮した行動がとれる人を育成しようとするものです。

やまぐち自然共生ネットワークとしても積極的に参加して、美しい自然を後世に引き継ぐための輪を拡げていきましょう。

事業の実施要件等（実施要領より抜粋）は下記のとおりです。

### 事業の要件

団体が県内で企画・実施する単年度の事業であって、以下の要件を満たすこと

(1) フィールド整備等を通して、自然環境への理解と認識を深め、自然環境に配慮した行動のとれる人を育てることを目的とした事業であること。

フィールド整備等の例＝解説板・標識等の設置、遊歩道の整備、海岸の清掃、希少動植物の保全、生息地等の整備等

(2) 事業の参加者は公募すること。

(3) 事業の参加費は無料であること。（ただし、食事代、資料代等の経費を除く。）

(4) 当該事業の実施について、行政機関等から補助金又は委託金等の助成を受けていないこと。

(5) 政治、宗教及び営利を目的とする事業でないこと。

(6) 事故時の対応等、事業実施上十分な安全対策がとられていること。

### 事業の経費等

(1) 事業に要する経費うち、1事業あたり20万円を限度に環境学習推進センターが負担する。

(2) 採択事業数6事業程度とする。

やまぐち自然共生ネットワークでは、みなさまからの情報をお待ちしています。

活動報告、活動予定等がありましたら、下記までご連絡ください。

ご連絡いただいた情報は、情報誌「ニュース」、機関誌「共生」、またはホームページに掲載し、会員のみなさまに情報として提供します。

〔事務局〕 山口市湯田温泉5丁目6-62-202 田中 浩（083-932-2241）

山口市滝町1-1 山口県自然保護課 内田 修（083-933-3060）

HPアドレス <http://www.gotjp.com/yama-kyou/>

メールアドレス [yama-kyou@gotjp.com](mailto:yama-kyou@gotjp.com)